

「大学院教育」に関するアンケートにご協力をお願い

【キャリアパス委員会企画】 「これでいいのか大学院教育！」

キャリアパス委員会では、将来の生命科学研究を担う若手研究者の育成を支援すべく活動しております。今回は「大学院教育」について皆さんと考えたいと思います。

現在大学院生の方はもちろん、ポスドクの方、かつて大学院生だった教員の方、企業にお勤めの方、皆様それぞれに「大学院教育」のあり方について、ご意見をお持ちのことと思います。是非本アンケートに答えて、ランチョンセミナーにもご参加ください。

調査結果は今後のキャリアパス委員会の活動や、生物科学学会連合、日本学術会議、文部科学省を含む行政等への提供資料に使わせて頂きます。

【アンケート実施期間】 2016年5月27日（金）～6月10日（金）17:00

日本分子生物学会キャリアパス委員会

1.性別

☐男性 ☐女性 ☐回答しない

2.職階

☐学部学生 ☐大学院生（修士） ☐大学院生（博士） ☐ポスドク ☐大学教員（助教・講師・准教授）
☐大学教員（教授） ☐研究員 ☐主任研究員・チームリーダー・室長以上 ☐企業
☐その他（自由記述）

3.年齢

☐24歳以下 ☐25～29歳 ☐30～34歳 ☐35～39歳 ☐40～49歳 ☐50～59歳 ☐60歳以上

進路等について

4.大学院進学時に卒業後の就職状況や進路についての説明はありましたか？（※複数回答可）

☐あった ☐なかった ☐自分で調べた ☐その他（自由記述）

5.進路についての相談は誰としていますか（していましたか）？（※複数回答可）

☐指導教員 ☐進路課職員 ☐先輩 ☐友人 ☐親 ☐その他（自由記述）

6.大学院生にお聞きします。大学院修了後の進路についての希望を教えてください。（※複数回答可）

☐海外でポスドク ☐国内でポスドク ☐企業の研究職 ☐企業の非研究職 ☐助教など大学常勤職員
☐その他（自由記述）

7.大学院生にお聞きします。将来の希望職に就くための就活以外の準備をしていますか？

☐はい ☐まだしていないがする予定 ☐いいえ

7-1.「はい」あるいは「まだしていないがする予定」と答えた人は、具体的に何をしていますか、あるいはする予定ですか？（自由記述）

8.大学院生にお聞きします。就活を有利に進めるための取り組みを行っていますか？

☐はい ☐まだしていないがする予定 ☐いいえ

8-1.「はい」あるいは「まだしていないがする予定」と答えた人は、希望の職に就くために具体的に何をしていますか、あるいはする予定ですか？（自由記述）

9.大学院における研究の具体的な進め方について誰と相談することが多いですか（多かったですか）？（※複数回答可）

☐指導教員 ☐ポスドク ☐先輩の院生 ☐同期の院生 ☐相談する人がいない（いなかった）
☐その他（自由記述）

10.大学院での指導や教育は充分である（あった）と感じますか？

☐ 充分過ぎる（過ぎた、過干渉） ☐ 充分（だった） ☐ 普通 ☐ 不足 ☐ 放置されている（された）

11.現在の学生と教員の比率について。

☐ 学生が多すぎる、学生定員を減らすべき ☐ 教員が多すぎる、教員を削減すべき ☐ 現在の比率で良い
☐ その他（自由記述）

11-1.「学生が多すぎる、学生定員を減らすべき」を選んだ方にお聞きします。学生定員を減らすと運営費交付金が削減されるので、学生定員は減らせないという議論があります。その場合どのような対策が考えられるかご自由に意見ををお願いします。（自由記述）

大学院教育について

12.現行の大学院教育制度において、どのような点を改善した方がよいと考えますか。（※複数回答可）

☐ 特に問題なし ☐ 講義と研究の比重 ☐ 英語教育 ☐ 研究室異動の難しさ ☐ その他（自由記述）

13.大学院において、講義と研究どちらに比重をおくべきか、最適だと考える割合を選んでください。

13-1.修士課程（講義：研究）

10：0 / 9：1 / 8：2 / 7：3 / 6：4 / 5：5 / 4：6 / 3：7 / 2：8 / 1：9 / 0：10

13-2.博士課程（講義：研究）

10：0 / 9：1 / 8：2 / 7：3 / 6：4 / 5：5 / 4：6 / 3：7 / 2：8 / 1：9 / 0：10

14.大学院において、どのような内容の講義をおこなったらよいと考えますか？（※複数回答可）

☐ 基礎的な学問（生物学、化学、物理学など）
☐ 専門的な学問（統計学、プログラミング、インフォマティクスなど）
☐ 研究倫理 ☐ 英語 ☐ 論文・申請書の書き方 ☐ 研究発表のやり方 ☐ 国内外の研究者によるセミナー
☐ 企業の研究者によるセミナー ☐ その他（自由記述）

15.大学院での英語教育の重要性についてご意見を教えてください。

☐ 重要なので増やすべき ☐ 現状で十分 ☐ 個人で行うべきなので減らすべき

16.大学院の英語教育において特にどのような内容のものを求めますか？（※複数回答可）

「その他」には、こんな授業があったら良いなどのご意見をお書きください。
☐ 日常英会話 ☐ 英語による研究文書（論文や申請書）の作成方法 ☐ 英語によるプレゼンテーション
☐ 英語によるディベート ☐ その他（自由記述）

17.研究室での英語について教えてください。

☐ 研究室の公用語が英語である ☐ 定期的にゼミは英語で行っている
☐ 日本語が話せない人が参加するときのみ、英語で行っている ☐ 基本的に日本語である

18.大学院での教育について、ご意見などご自由にお書きください。（自由記述）

19.大学院（修士課程・博士課程を通して）において、複数の研究室を経験すべきですか？

☐ するべき ☐ 1つの研究室でやるべき ☐ どちらとも言えない

19-1.19.の質問に関して、その理由をご自由にお書きください。（自由記述）

20.大学院生にとって、研究室はどのような存在ですか。ご自由にお書きください。（自由記述）

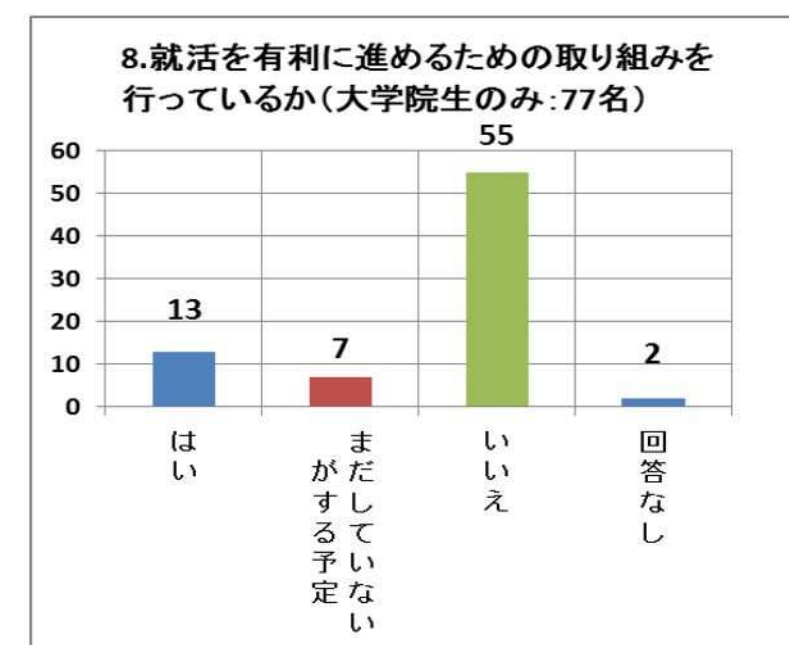
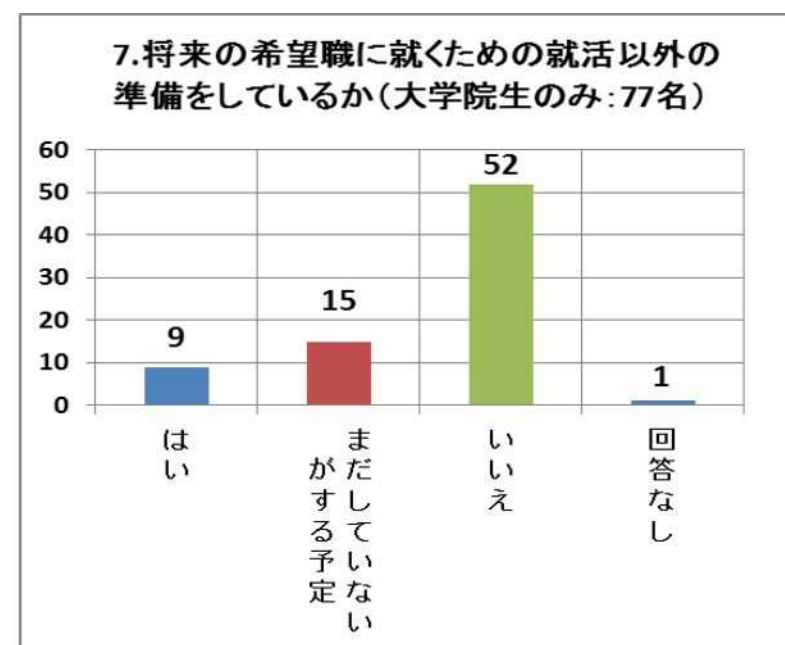
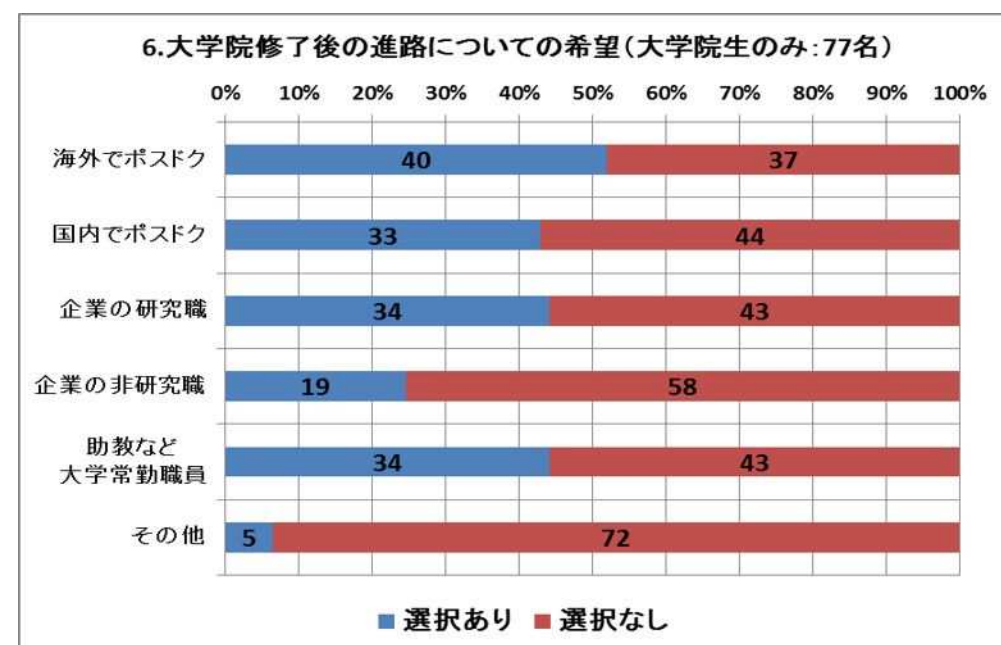
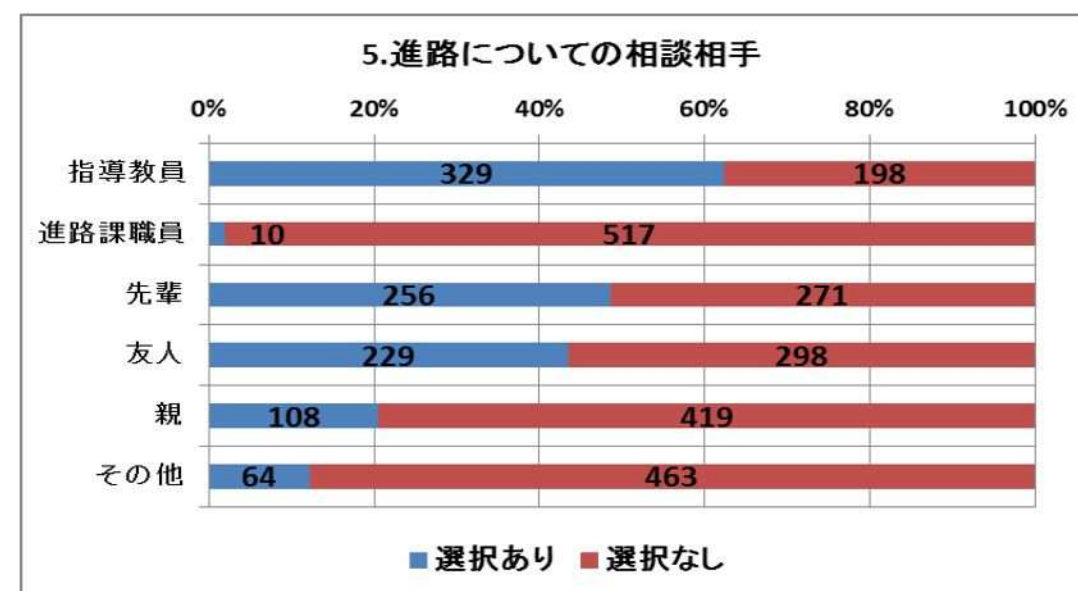
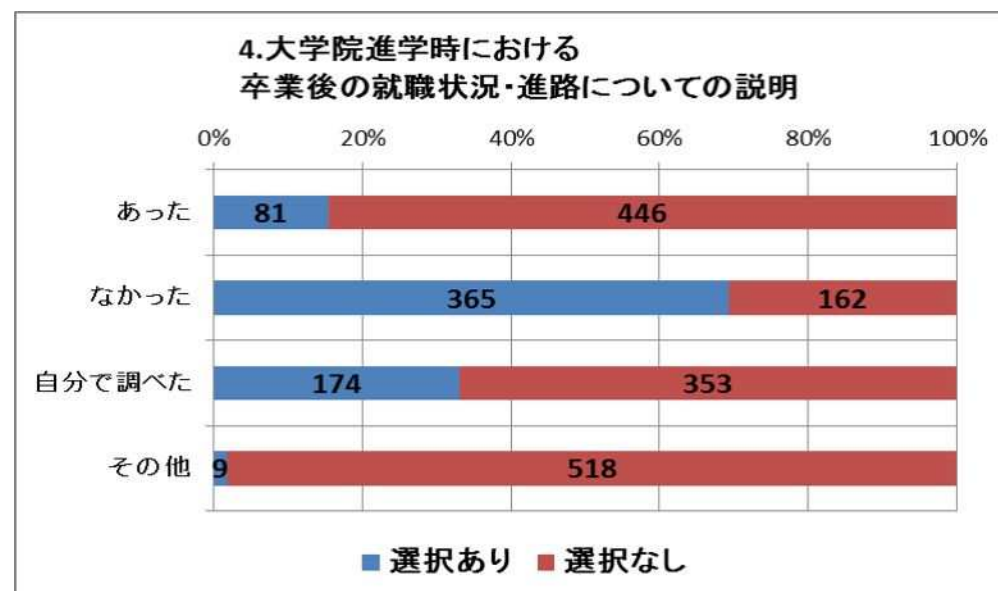
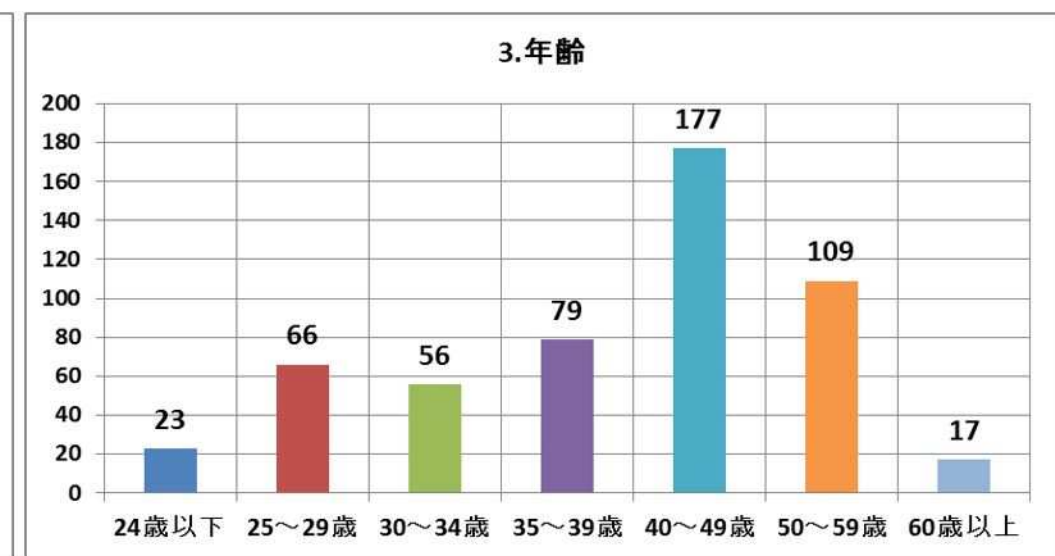
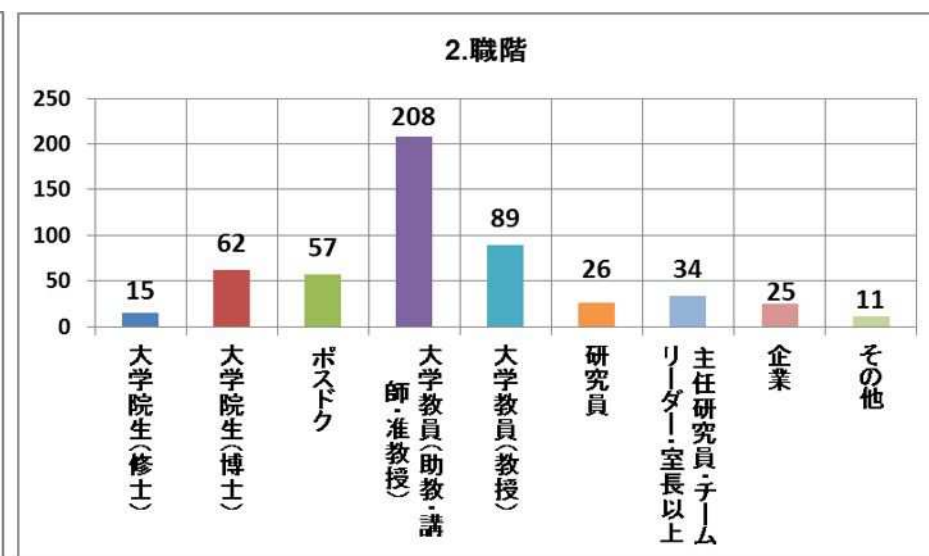
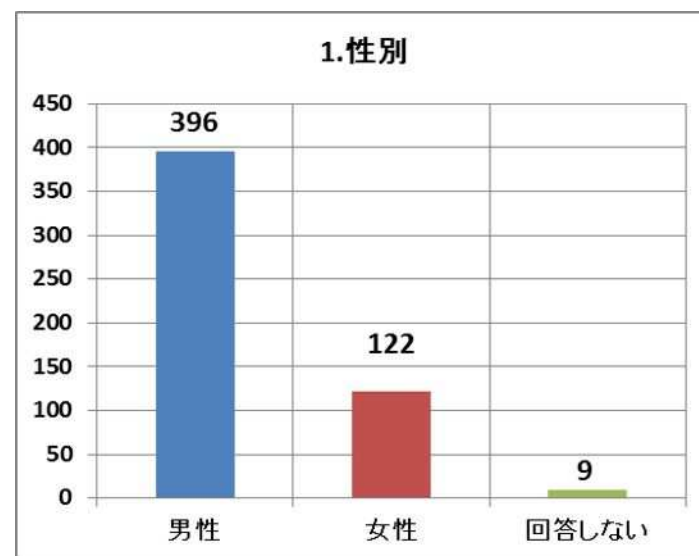
21.他研究室・他大学と交流する機会についてご意見を教えてください。

☐ 重要なので増やすべき ☐ 重要だが現状で十分
☐ 重要ではないので減らすべき ☐ 重要ではないが現状で十分

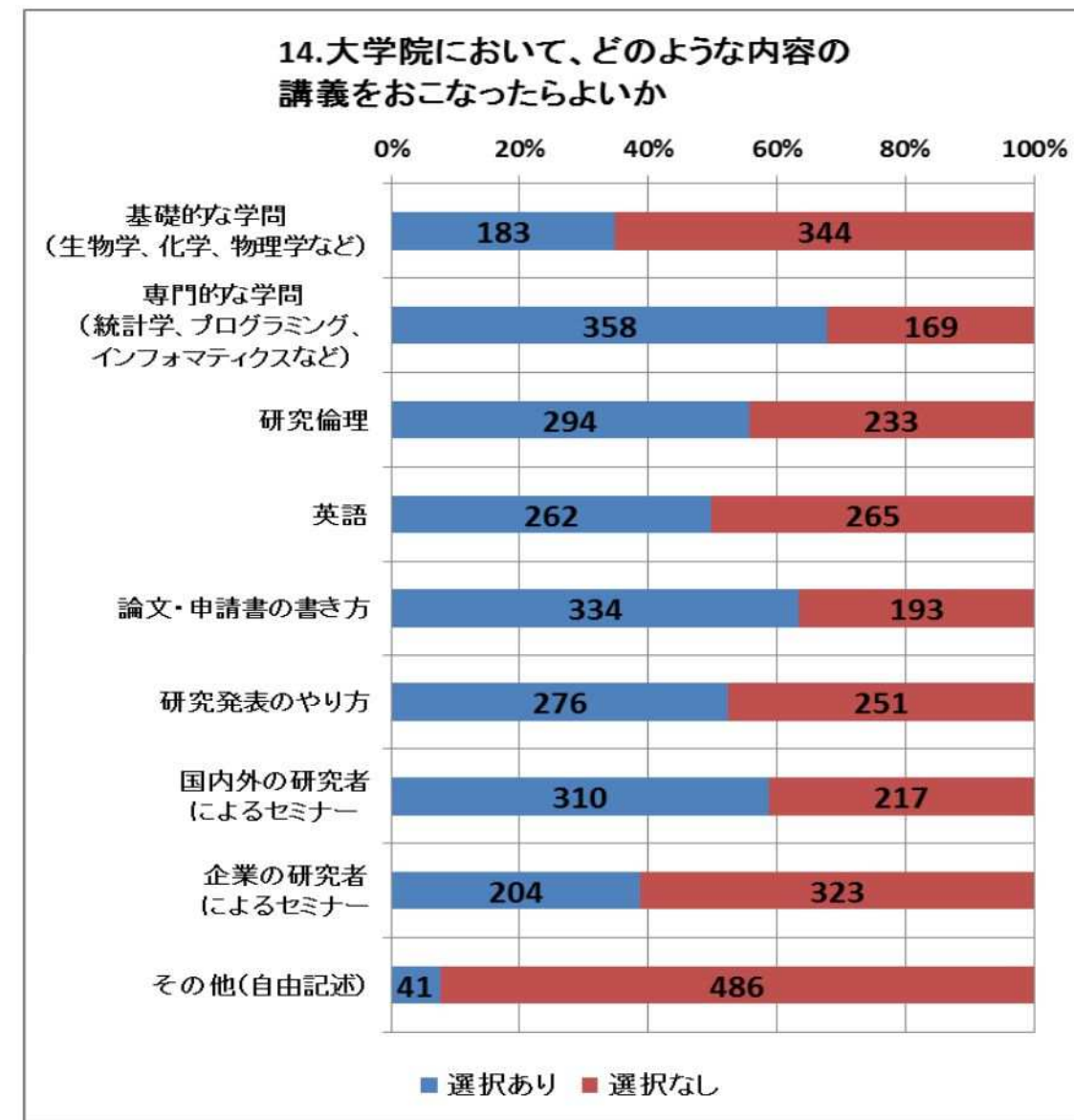
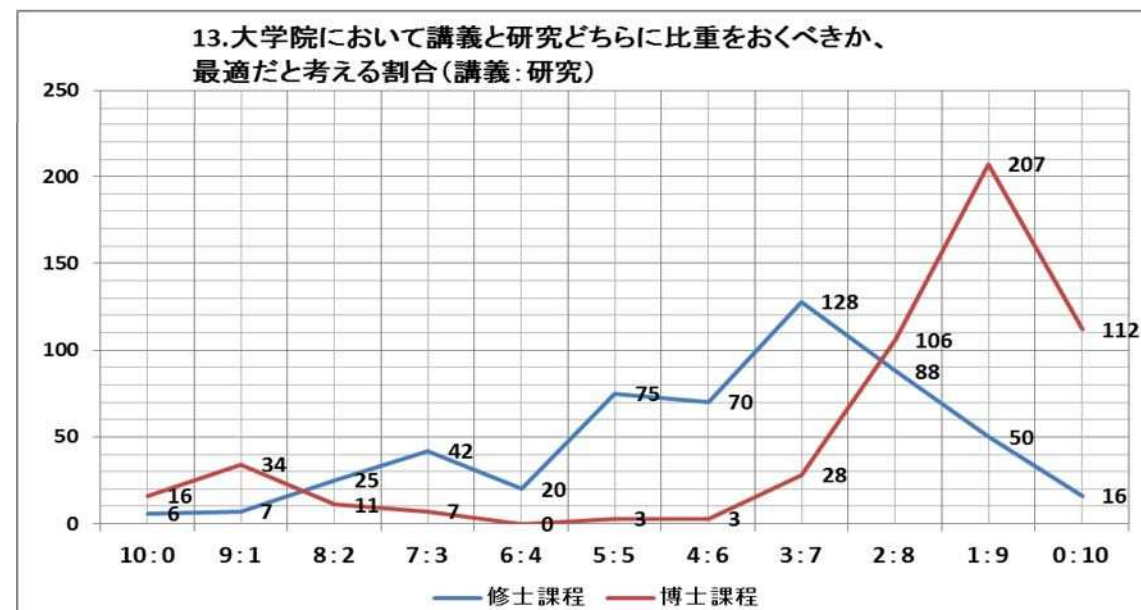
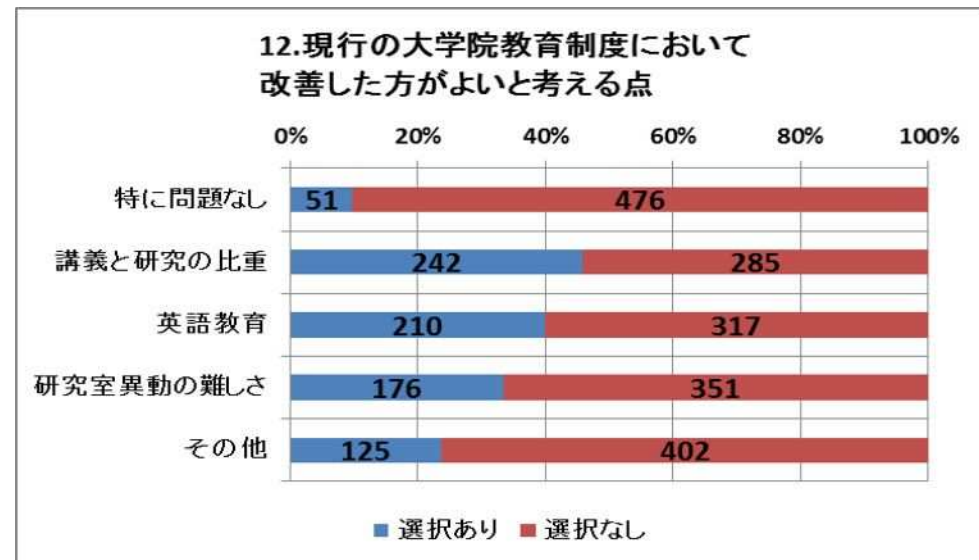
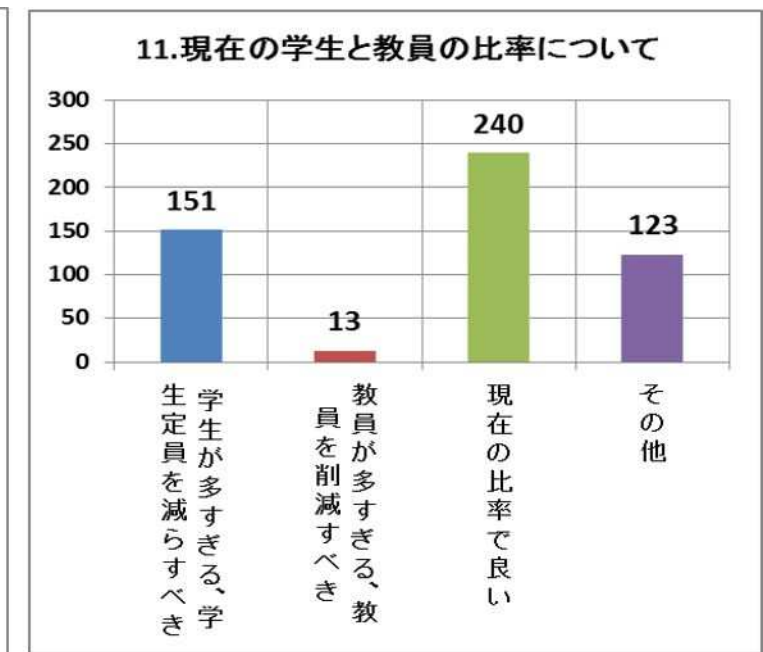
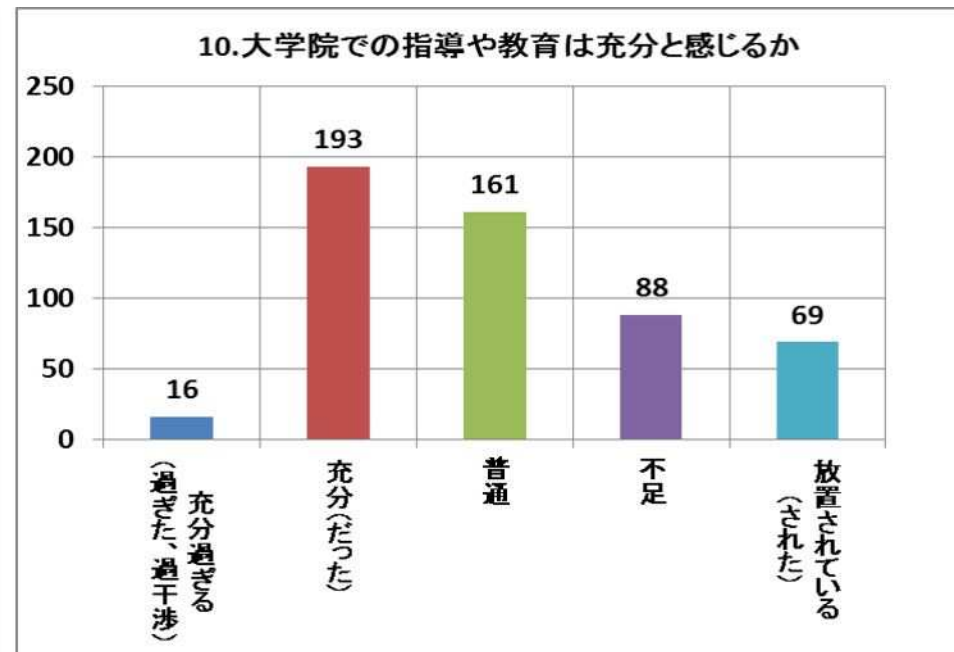
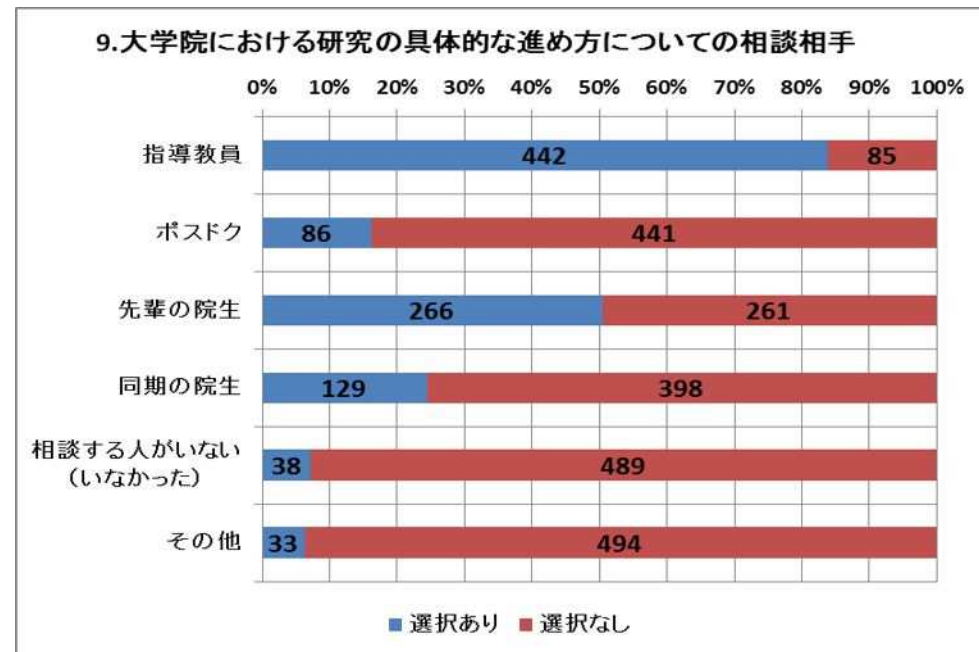
22.若手研究会の実施についてご意見を教えてください。

☐ 重要なので増やすべき ☐ 重要だが現状で十分
☐ 重要ではないので減らすべき ☐ 重要ではないが現状で十分

日本分子生物学会「大学院教育」に関するアンケート
【アンケート実施期間】2016年5月27日(金)～6月10日(金) 【回答者数】527名(設問6～8は大学院生のみ:77名)



日本分子生物学会「大学院教育」に関するアンケート
【アンケート実施期間】2016年5月27日(金)～6月10日(金) 【回答者数】527名(設問6～8は大学院生のみ:77名)

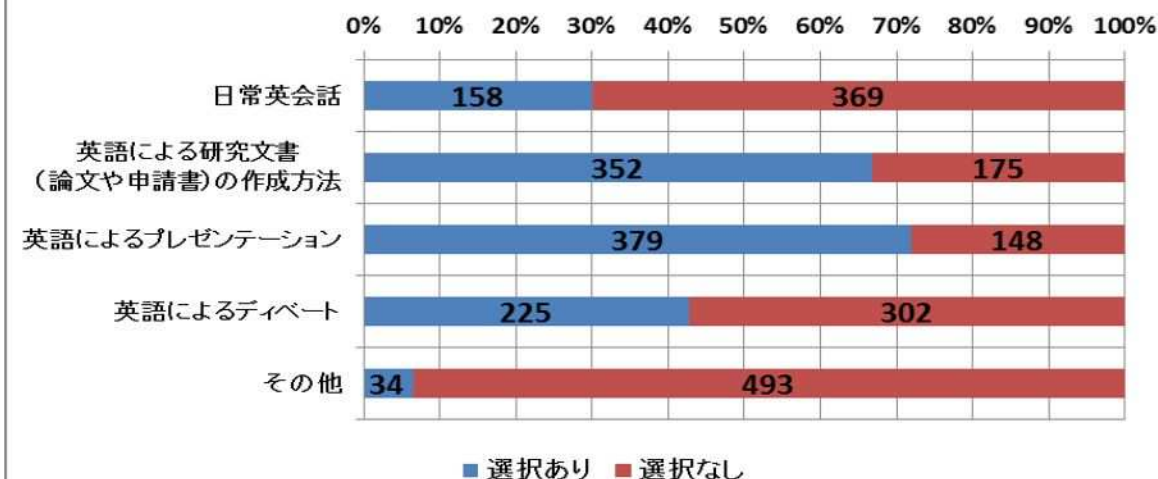


日本分子生物学会「大学院教育」に関するアンケート
【アンケート実施期間】2016年5月27日(金)～6月10日(金) 【回答者数】527名(設問6～8は大学院生のみ:77名)

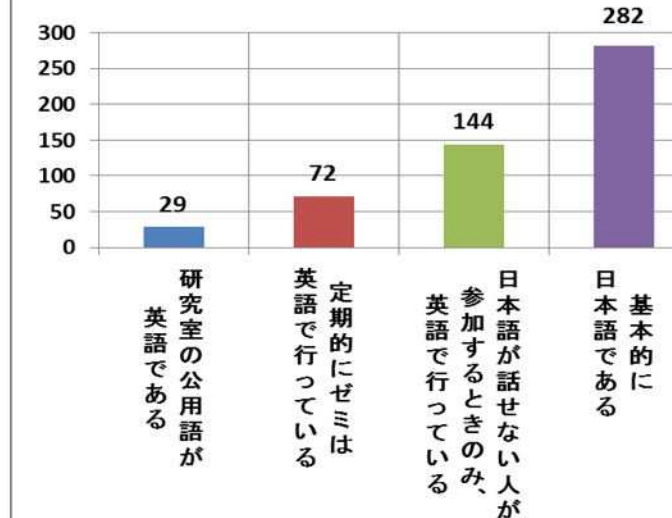
15.大学院での英語教育の重要性



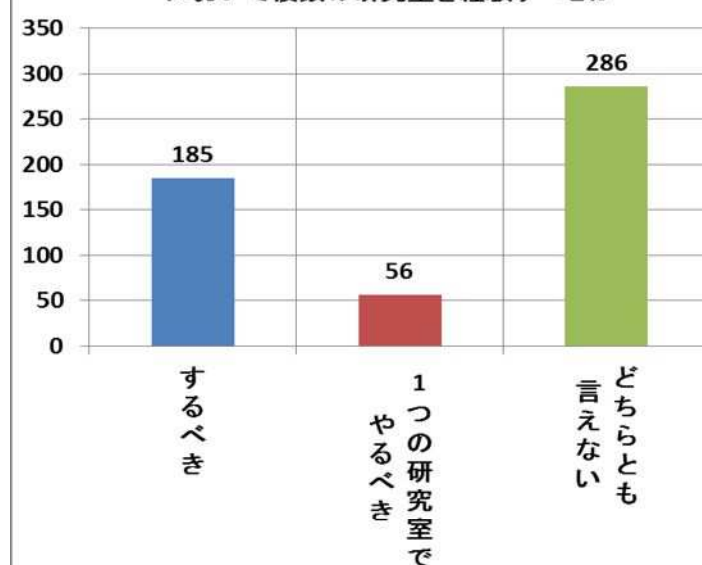
16.大学院の英語教育において特に求める内容



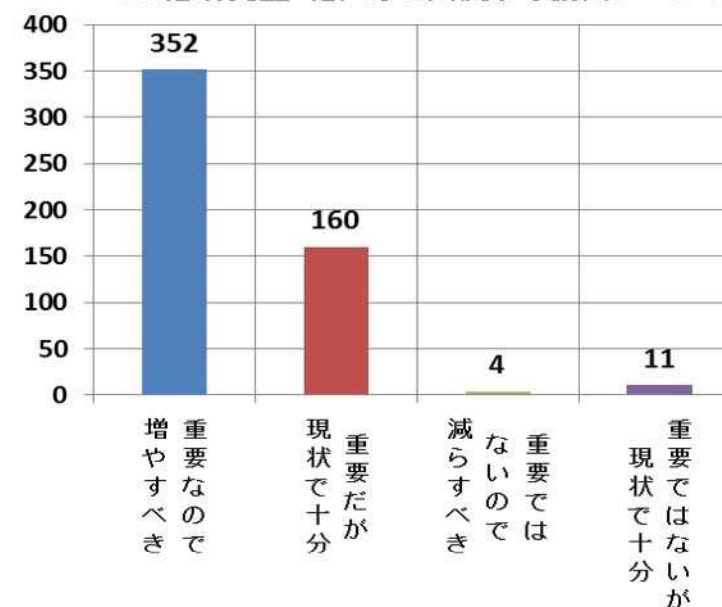
17.研究室の英語について



19.大学院(修士課程・博士課程を通して)において複数の研究室を経験すべきか



21.他研究室・他大学と交流する機会について



22.若手研究会の実施について

